

半導体 PET/CT 装置 Discovery MI AM-edition における画像再構成法 Bayesian penalized likelihood (BPL) の有用性を評価に関する研究

1. 研究の対象

令和2年10月から令和4年10月31日の期間に 18F-FDG PET/CT 検査を受けられた方

2. 研究目的・方法

PET 検査で診断に用いられる画像は、検査で得られる画像情報をもとに様々な画像処理技術を加えて作成されます。この画像処理技術の一つに画像再構成があり、画像再構成法として ordered subset expectation maximization (OSEM) 法が用いられてきました。近年では、新たに画像再構成法として Bayesian penalized likelihood (BPL) 法が開発され、従来用いられてきた OSEM 法に比べて画質が飛躍的に向上したと報告されています。当院では、2019 年に PET/CT 装置を更新し、OSEM 法に加えて BPL 法が使用可能となりました。本研究の目的は、当院の PET 検査に用いられる撮像プロトコルに於いて、BPL 法と OSEM 法の画質を臨床画像を用いて比較評価し、BPL 法の有用性を検討することです。研究期間は、2022 年 10 月 31 日と致します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：画像データ、年齢、性別、体格

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：高知大学医学部附属病院放射線部 切詰 力斗
〒783-8505

高知県南国市岡豊町小蓮 185-1

TEL：088-866-5811

-----以上